

無所属37歳



発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索
住所 〒239-0841 野比2-13-18
☎ 070-6640-3927
Fax 046-801-2177
✉ info@kobayashinobuyuki.com
Web <http://kobayashinobuyuki.com>
野比在住。1975年(昭和50年)9月3日生。
筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサル
ティングに携わるが、地域の疲弊と日本の
将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験
合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市
長)公設秘書として修行し、2011年4月より
横須賀市議会議員。地域通貨イタッチ事
務局長など、市民活動にも関わる。

緊急特集

横須賀市長選、 争点は何か？

出馬表明の3人。「政策」で比べてみると……

緊急特集

横須賀市長選、争点は何か？

出馬表明の3人。

「政策」で比べてみると……

行政を「リストラ」できる経営者は誰か？

積極投資は、当たれば見返りが大きい反面、失敗し

場合が怖い。起債(借金)してリスクの高い勝負をするより、
**まずは事業の「リストラ」を進め、生み出した財源を投資にま
わすべき**です。「リストラ」といっても職員の首切りではない。
つまり、効果が薄くなった事業は、しがらみを断ち切って廃止
する。そして、将来のために必要な分野に重点投資する。企
業経営ならあたりまえの事業のスクラップ&ビルドです。

この観点では、最初から「タンス預金」を使うことを考えてい
る岸氏にサイフを預けるのは不安です。また、元市職員の方
にもなかなか難しいかもしれない。安定した右肩上がりの時代
には、中央とのパイプもあり、過去の事業の経緯も知っている
役人は適任でしょう。でも、環境が激変する時代には、それが
仇になる。先輩や自分が手掛けた仕事を否定しにくく、従来の
利害関係者に対しどうしても遠慮が出る。すると、現在の事業
をカットするよりも、国の補助金や起債に頼る傾向が出ます。

じゃあ、誰なのか？

現在の吉田市長は、横須賀市の経営者として最適だとは思
いません。「チェンジ!」と叫んで華々しく登場したわりに、任期
4年間の切り込みは不十分でした。それはみなさんもお感じと
思います。ただし、少なくとも今回、**事業見直しに言及している
のは吉田氏だけ**のようです。また、棚上げとなったとはいえ
「事業仕分け」も実施。任期中に各種値上げも着手しました。
市民に痛みを伴う改革でも、挑戦する気概は持っているとい
うことです。また、お金のかかる重度心身障害児者施設の建設
も、行政の本業である福祉にしっかり投資するもので、
地味ですが評価できる実績です。政策面で比べれば、
質・量ともに頭一つ抜けていると考えます。

6月30日の市長選には、3名の方が出馬表明しています。

それぞれの人物・性格の評判や政局話はよく耳にしますが、
それは本筋ではないはず。ここでは「政策」で3名を比べ、
みなさんに判断材料をご提供したいと思います。裏面に、主
な政策を10分野に分けて整理してみたので、併せてどうぞ。

似ているところ。差があるところ。

子育て支援策は大枠では横並びです。一方、違いが大きい
分野もあります。「自治基本条例が重要」という方は吉田氏、
「住民投票条例が重要」という方は岸氏、「どっちも要らない」と
いう方は広川氏になるでしょう。また、「とにかく基地反対!」と
いう方は岸氏に、「何と言っても中学校給食ヨロシク!!」という方
は吉田氏以外の選択になりますね。

のるかそるか？ どう投資するか？

私が比べた中で、**最大の争点は財政や借金の考え方**です。
一時的に借金を増やしてでも発展のために投資するのか？
将来の負担を考え、身の丈に合った範囲でやりくりするのか？

どちらが正しいとは一口に言えない問題です。ただし、**現役
世代にとっておトクな選択は、おそらく広川氏**でしょう。アベノミ
クスと足並み揃え、当面は積極投資するでしょうから、恩恵に
あずかる市民も多いでしょうね。一方、**私たちの子供や孫たち
にとっておトクな選択は吉田氏**でしょう。将来の世代に重荷と
なる借金を減らすことは、子供たちに恨まれない選択です。

どちらがいいかは、「のるかそるか」という側面があり、どこに
どれだけ投資すれば当たるのか、確かなことは言えません。
ただし、従来のようなハコモノ投資をすれば、成果は上がらず
借金が積みあがるばかり。かつて、バブル崩壊後の経済対策
で、当時の自民党政権が犯した失敗です。一方、成長分野や
教育など将来につながる投資なら、きっと実を結ぶでしょう。

出馬表明者	吉田雄人氏	広川聡美氏	岸牧子氏
肩書きなど	横須賀市長/37才	前横須賀副市長/61才	園芸業/市民団体元代表/56才
掲げる未来像・フレーズ	選ばれるまち、横須賀へ	動かそう!! 横須賀。	みんなでつくる幸せ度No.1の街
ウェブサイト	http://yuto.net/	http://saotomihiroakawa.com/	http://yokosuka630.blog.fc2.com/
① 財政	財政規律派 就任時の市債(借金)残高3132億円を3004億円へ約130億円削減の実績。下水道使用料、国民健康保険料・介護保険料などの見直し(値上げ)も主張。施設白書の作成と施設の再配置(統廃合)も明言。土地の売却、事業見直しも推進。一方で、財政基本計画に経済対策の財源も記載(切り詰めるだけでなく、投資のためのお金も計画的に用意するということ)	積極財政派 「緊縮に偏りすぎると活力が失われる。今は投資の時期」との見解。(借金の削減に固執せず、積極的に投資することで経済活性化し、税収の維持・増加を図るということだと読める)	財政調整基金の活用 (家計で言えば、突然の出費に対応するための「タンス預金」的な手持ち資金が財政調整基金。これをもっと使っていくということは、一時的にはできるが、長期的にどうするか不明)
② 基地と空母	現実容認 米軍基地については「現実のものとして受けとめる」という見解	共存共栄 基地との共存姿勢。安全保障における横須賀基地の役割の重要性を「誇り」と表現	基地反対 米軍基地の撤去を国に求め、原子力空母の母港化の撤回も求める立場
③ 住民投票 & 自治基本条例	自治基本条例を提案 自治を進めていくことをうたった理念条例である自治基本条例の制定を訴える。地域運営協議会の設置拡大を進める。(一方、一期目で提案した住民投票条例について、今回は言及なく、旗を降ろしたか?)	住民投票も自治基本条例も反対 「米軍基地のまちには住民投票はなじまない」という理由で反対姿勢を示している。(言いたいことは分かるような気もするが、およそ論理的でない説明で真意は不明)	住民投票条例を提案 常設型の(その都度、議会の議決が必要な個別設置型ではない)住民投票条例の制定を提案。市政への市民参画
④ 経済対策	地域内の循環型経済志向か? ●市内事業者を優先する入札制度改革 ●1年に1ヶ所の企業誘致による雇用創出 ●中央大通りの「歩行者天国」化 ●基地からの市内発注・消費増の働きかけ ●追浜駅前・住重跡地の再開発 ●商店街が共同して行う宅配事業を支援 ●横浜横須賀道路通行料金値下げ	国・市による下支え志向か? ●国とも連携し新分野産業の創出・誘致 ●国と連携し横浜横須賀道路通行料値下げ ●事業主・商店主向けセーフティネット用意 ●送迎バスを活用した「買い物難民」対応	基地を撤去し平和産業へ転換 ●中小企業の応援 ●地元業者への発注 ●商店街の活性化
⑤ 新規投資 新規開発	開発には抑制的だと思ったら…… ●「Y-HEART構想」の実現を目指す ●メガソーラー(2ヶ所)や高効率の石炭火力発電所(久里浜)を誘致 (10年前から動いていない「Y-HEART構想」に言及。広川氏が該当地区に国立運動センター誘致を掲げた影響か?)	国や民間と連携した大型計画 ●国立トレーニング・センターの誘致 ●基地内の大学と「横須賀で留学」の実現 ●英語教育を中心とした高等教育機関誘致	再生可能エネルギーの地産地消 (その他、具体的な言及は見当たらず)
⑥ 観光政策	基地と自然の観光活用 ●エコツアーの推進 ●修学旅行・民泊の誘致 ●海から巡るクルージング観光の誘致 ●横須賀美術館の改革 ●観光協会の改革 ●道の駅・海の駅の整備 ●三浦半島4市1町との連携強化	基地とアメリカ文化の観光活用 ●中央エリアに「アメリカン・ストリート」を整備 ●横須賀にまつわる歴史の掘り起こし ●大型観光バス駐車場や「チャリ」の駅整備 ●三浦半島の海辺観光ルート「海遊回廊」の形成による宿泊観光客の増加	不明 (具体的な言及は見当たらず)
⑦ 中学校給食	導入しない 財政面から「現状では難しい」との姿勢で、市民ニーズの把握や、検討委員会の開催すらしない立場。ただし、注文弁当の栄養・価格・注文方法の問題を解消するとしている	導入 & 複合的活用 お弁当か給食か選べる選択制の中学校給食の導入を明言。これにより、地域経済の活性化や雇用創出も狙う。併せて、高齢者向けの宅配食への設備活用も視野に入れる	導入 中学校給食の実施を明言
⑧ 子育て支援策	・小児医療費小6まで無料 ・全小学校区に学童クラブを整備 ・保育園待機児童を10人未満へ ●民間協働の「すかぶ」で子育て世代支援 ●小学校や他の公共施設へ学童クラブ移設 ●乳児期の世帯の全戸訪問	・小児医療費小6まで無料 ・全小学校区に学童クラブを整備 ・学童クラブの保育料軽減 ●市街地再開発計画に保育園を含める ●保育士・幼稚園職員の育成支援 ●各小学校に放課後の施設管理職員を配置し、学内学童保育を推進	・小児医療費小6まで無料 ・学童クラブの保育料半額化 ●放射能から子供たちを守る
⑨ 医療・福祉	●特別養護老人ホームを100ベッド整備 ●産婦人科医・小児科医の増員 ●退職後の学び直し、スポーツ施設お試し券配布などによる健康増進 ●保健師の拡充	●市民病院診療科・看護師不足を行政支援 ●予防・救急から緩和ケアまでの一貫した医療・歯科医療の提供	不明 (具体的な言及は見当たらず)
⑩ その他	●自然を守り育てる。里山保全 ●谷戸の再生 ●障害者雇用特例子会社の誘致 ●障害者作業所製品の販路拡大 ●重度心身障害児者入所施設を整備 ●「いじめ防止条例」を提案 ●ボランティア・ポイント制度の導入	●障害者や引きこもり者の「親なきあと問題」の解決 ●美術館・芸術劇場を若手アーティストの登竜門とする聖地化・ブランド化	●憲法で保障された人間らしく暮らせる街をめざす



※政策は、このまちに与える影響度(Impact)と、市民の関心度(Concern)の、この視点で重要なものを抽出。
※すでに実現されることが既定路線の案件は除外。
※できるだけ具体的な政策を抽出したが、具体性がない場合は抽象的なまま取り上げたものも。
※六月一日時点までに、小林のぶゆきが手に入れた各陣営のチラシやホームページを基に、インターネットの協力の下、作成
また、横須賀青年会議所が六月一日に開催した「公開討論会」での発言内容も参考にした。



編集後記

私は、是々非々の立場ですから、誰のことも応援はしませんが、「判断材料は示そう」と今回の特集を組みました。政策の評価は、客観的・中立にはできないと思います。客観的な事実をもとにしても、論評するときには私の価値観が入ってきます。だから、これはあくまで私の評価です。もっとも、客観的事実をもとに評価し、オピニオンを示すのは、本来は新聞などの仕事だと思うんです。メディアを客観・中立だと思っているのは日本ぐらいだそうですしね。しかし、あまり見あたらないので私にて実施しました。とはいえ先日、私たちの実績を吉田市長が自分の実績として紹介する「横取り」がありました*。あまりのことで一瞬、評価をひっくり返したくなりました(苦笑)。吉田市長には今後慎んで頂き、9月の議会でも政策論争を戦わせたいものです。

*詳細は小林のぶゆき Blog 6月8日の記事を参照



応援してください!

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は頂いていません。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。必ず私、小林伸行が自分で目を通します!

E-mail: info@kobayashinobuyuki.com Fax: 046-801-2177



小林のぶゆきの基本政策

見える 誰が何をどう決めているのかわかんない……。

市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

わかる 難しい説明をされてもよくわからない……。

いま何が問題なのか。いま何が重要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

変わる これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。

現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。